

国内クレジット認証委員会御中

実績確認概要書

平成 25 年 5 月 9 日

審査機関名 株式会社日本スマートエナジー

1. 排出削減事業計画の概要

排出削減事業名	平群温室バラ組合における CO2 排出削減事業計画 施設園芸用ヒートポンプ導入プロジェクト
承認番号	JCDM-PJ0099
排出削減事業者名	平群温室バラ組合
排出削減共同実施事業者名	関西電力株式会社 (その他関連事業者：全国農業協同組合連合会)
事業実施場所	奈良県生駒郡平群町福貴平群バラ組合会員所有バラ生産用ハウス (29 ヶ所)
事業の概要	平群温室バラ組合に所属するバラ生産用ハウス計 29 ヶ所で、高効率のヒートポンプ空調設備を導入し、既存の A 重油焚きボイラーによるハウスへの暖房の一部を代替する。設備効率の向上と低炭素燃料へのエネルギー転換によって、CO2 排出量の削減を図るもの。
排出削減量の計画	656 tCO2/年 (事業実施期間合計 2,624 tCO2)
国内クレジット認証期間	事業開始日 2009 年 4 月 1 日 終了予定日 2013 年 3 月 31 日
排出削減方法論	方法論番号 004 空調設備の更新

2. 本実績確認の対象期間

2011 年 12 月 21 日～2013 年 3 月 31 日 (第 4 回目実績報告)

3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	770tCO ₂ (2011年12月21日～2013年3月31日)
--------------	--

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていること	<p>排出削減量は、承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果、生じていることを確認した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 承認済み排出削減事業計画に従い、高効率ヒートポンプが導入されていることを、本実績報告期間における電力使用量請求書、暖房稼働日記録等により確認した。 2) 本実績報告期間において導入設備が稼働していることを本実績報告期間における電力使用量請求書、暖房稼働日記録等により確認した。 3) 事業開始日が承認排出削減事業計画書通りであることを、エネルギー使用量実績およびヒートポンプ稼働日数モニタリング表により確認した。 4) その他、本事業に承認排出削減事業計画から重要な変更がないことを確認した。
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	<p>排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていることを確認した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) モニタリング方法については、承認済み事業計画に従って、電力会社から毎月送付された電力使用量請求書からヒートポンプ以外の電力使用量を差し引くことにより電力使用量が把握されていることを確認した。事業実施前及び実施後の設備効率のモニタリング方法については、カタログ値を利用することに変更がないことを確認した。 2) 活動量の正確性については、報告期間中にわたり、空調電力請求書および稼働時間の実績確認により、承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画書通りにエネルギー

	<p>一使用量の記録・保管が適切になされており、正確に集計されていることを確認している。</p> <p>3) 排出削減量の算定式及び使用されている電力の炭素排出係数等が方法論及び承認排出削減事業計画に従っており、排出削減量算定結果が正確であることを確認した。</p> <p>4) 事業実施後排出量、ベースライン排出量、リーケージ排出量、排出削減量の算定結果をモニタリング結果と突合、方法論の定めた計算式との照合、計算過程の確認、再計算等を実施した結果、排出削減量の算定結果が正確であることを確認している。</p> <p>5) その他、排出削減量の算定において重大な変更はなされていないことを確認した。</p>
<p>算定期間が 2013 年 3 月 31 日を超えないこと</p>	<p>本実績確認の対象期間は、2011 年 12 月 21 日～2013 年 3 月 31 日までであり、排出削減量を算定した期間が 2013 年 3 月 31 日を超えないことを確認している。</p>

5. 特記事項

確認した排出削減量に相当する省エネ量について、原油換算 155.8k1 であることを確認した。